

令和6年度 災害支援協力連絡会 議事録

日 時：令和6年6月14日（金）

場 所：鹿児島地域振興局5階 大会議室

出席者：（発注者側）

建設部長	吉村 卓也
建設総務課長	高良 尚男
土木建築課長	栗野 克大
河川港湾課長	稲 卓郎
河川港湾課技術補佐	川路 博昭
技術調整係長	三田 昭二
土木技師	松野下 晃平
土木技師	園田 鷹将

（測量設計業協会側）

役 員 安永会長、福田理事

連絡責任者 正：大福コンサルタント 叶 晋二

副：萩原技研 新菌 俊一、津村 英明

（地質調査業協会側）

役 員 梶原理事長、宇都理事、松元理事、緒方理事、林幹事

支援派遣班長 南谷 貢

1. 開会挨拶

吉村建設部長

安永会長

梶原理事長

2. 連絡体制に係る情報交換について

- ・三田係長より、受発注者相互の連絡体系図、支援企業・鹿児島地域の連絡体制について説明があった。内容について、昨年度と変更はなく各個人の名前や連絡先が変更となっている。個人情報が含まれているため、取扱いに注意するようとのこと。

3. 公共土木施設の状況について

- ・三田係長より、資料2の「管内の概要」について説明があった。内容について、昨年度とほぼ変更はなく、一部のデータや事業写真が最新のものに更新しているとのこと。

4. 支援協力の範囲及び災害時の被災状況調査内容について（測量設計業協会）

- ・福田理事より、支援協力の実績、支援協力連絡会や災害対応研修会の開催状況、災害支援協力の流れ、災害調査員証明書（今年は黄色）について説明した。連絡体制図については、連絡責任者（正）が大福コンサルタント、（副）が萩原技研に変更となっていることを説明した。

5. 支援協力の範囲及び災害時の被災状況調査内容について（地質調査業協会）

- ・宇都理事より、大規模災害時における地質調査等の支援協力について説明があった（資料1）。
- ・松本理事より、緊急連絡先・支援本部連絡体系図の説明があった（資料2）。
- ・緒方理事より、支援協力要請提出部様式・報告事例の説明があった（資料3）。

6. 意見交換

① 休日の連絡手段における LINEWORKS 等チャットの活用

- ・宇都理事より、休日における連絡手段について LINEWORKS の活用が可能か。
→ 三田係長より、県の職員内で LINEWORKS を使用しているが、職員以外は入ることができないこととなっている。
- ・安永会長より、LINEWORKS のセキュリティーについては問題ないか。
→ 緒方理事より、無料の LINE とは違い日本国内のサーバを使用しており、契約は国内企業としているため、問題ない。

② 施設台帳の提供

- ・安永会長より、大隅地域では全台帳データ一式を事前に準備しており、災害対応時に直ぐに受領できる体制となっていたため、鹿児島地域においても同様の対応をお願いしたい。
→ 栗野課長より、大隅地域は災害が多くそのような対応ができていると思われる。鹿児島地域でも準備できるようにする。

③ 災害支援の依頼について

- ・栗野課長より、災害が発生した場合、規模等により災害支援を依頼するかどうか迷う場合がある。
→ 安永会長より、気になさらずなるべく早くご相談いただければと回答した。
- ・稲課長より、洪水・浸水調査の依頼は可能か。
→ 安永会長より、何でもご相談いただければと回答した。

④災害調査におけるドローンの使用状況について

- ・ 川路技術補佐より、ドローンの使用状況について教えてほしい。
 - 福田理事より、各社の判断によるが、危険個所においてドローンを有効活用している。
 - 安永会長より、昨年度瀬戸内管内や始良・伊佐地域管内でのD X災害査定においてもドローンを活用している。

⑤若手への技術教育について

- ・ 栗野課長より、若手技術者に対して、どのような技術教育を行っているのか。
 - 安永会長より、社内教育で対応している。
 - 宇都理事より、講習会を実施している。

以 上

